

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
470014	XY1470014	2	前期	国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
				情報文化学部情報文化学科	×	×	×
F P 特論 1	田中 陽子			情報文化学部情報システム学科経営コース (26 年度以降)	専門	選択	1 年
				情報文化学部情報システム学科情報コース (26 年度以降)	専門	選択	1 年
				情報文化学部情報システム学科経営コース (25 年度)	専門	選択	1 年
				情報文化学部情報システム学科情報コース (25 年度)	専門	選択	1 年
		情報文化学部情報システム学科 (24 年度以前)	×	×	×		
授業目的							
個人の生活設計、パーソナルファイナンスに欠かせないライフプランの基礎知識を学びます。今後の人生で不可欠となるお金に関する基礎知識（ライフプラン、金融資産、不動産、保険、タックス、相続）を中心にまた人生の3大資金設計である教育、住宅、老後資金設計に必要なキャッシュフロー作成の概略を学びます。FP は実学でありその知識は今後の就職や人生の中で必ず役に立つ知識となります。 また FP の学習は経営に必要な知識をみにつけます。							
各回毎の授業内容							
第 1 回 【授】F P ガイダンス、第 I ライフプランニングと資金計画、ライフプランとファイナンシャルプランニング、コンプライアンスと関連法規、F P に必要な分野と知識 【前・後】教科書授業部分通読 4 時間程度の学習				第 9 回 【授】第 2 編リスク管理 リスクマネジメント、生命保険の基礎知識、商品の仕組みと概略 【前・後】教科書授業部分通読、問題集学科 4 時間			
第 2 回 【授】第 I ライフプランニングと資金計画、ライフプランの基礎、ライフイベント表の作成、キャッシュフローマネジメントの基礎知識 【前・後】教科書授業部分通読 4 時間				第 1 0 回 【授】第 2 編リスク管理 リスクマネジメント、生命保険の基礎知識、商品の仕組みと概略 【前・後】教科書授業部分通読、問題集学科 4 時間			
第 3 回 【授】第 I ライフプランニングと資金計画、教育資金、住宅資金、リタイアメント資金、その他のローン知識 【前・後】教科書授業部分通読、問題集学科 4 時間				第 1 1 回 【授】第 2 編リスク管理 リスクマネジメント、損害保険の基礎知識、リスク管理、保険と税金 【前・後】教科書授業部分通読、問題集学科 4 時間			
第 4 回 【授】第 I ライフプランニングと資金計画、社会保険制度 【前・後】教科書授業部分通読、問題集学科 4 時間				第 1 2 回 【授】第 2 編リスク管理 リスクマネジメント、損害保険の基礎知識、リスク管理、保険と税金 【前・後】教科書授業部分通読、問題集学科 4 時間			
第 5 回 【授】第 I ライフプランニングと資金計画、社会保険制度 【前・後】教科書授業部分通読、問題集学科 4 時間				第 1 3 回 【授】第 3 編金融資産運用設計 金融経済の基礎知識 【前・後】教科書授業部分通読、問題集学科 4 時間			
第 6 回 【授】第 I ライフプランニングと資金計画、公的年金制度 【前・後】教科書授業部分通読、問題集学科 4 時間				第 1 4 回 【授】第 3 編金融資産運用設計 貯蓄型金融商品 【前・後】教科書授業部分通読、問題集学科 4 時間			
第 7 回 【授】第 I ライフプランニングと資金計画、公的年金制度 【前・後】教科書授業部分通読、問題集学科 4 時間				第 1 5 回 【授】第 3 篇金融資産運用設計 債券投資の基礎知識 【前・後】教科書授業部分通読、問題集学科 4 時間			
第 8 回 【授】第 I ライフプランニングと資金計画、公的年金制度 【前・後】教科書授業部分通読、問題集学科 4 時間				第 1 6 回 【授】課題によるキャッシュフロー表の作成（定期試験にかえて提出） 【前・後】キャッシュフロー作成部分の復習 6 時間			
成績評価方法							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合 (%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート	1 0	1 0					2 0
授業態度・授業への参加	3 0		5 0				8 0
成果発表（口頭・実技）							
演習							
その他							
授業内容が広範にわたるので、授業に対する関心と意欲が重要。毎回のアンケート用紙への書き込み等から参加意欲を判断。また授業中に問題を回答させ、単元ごとに小テストを行い理解度を評価 キャッシュフロー表の作成提出により理解度を判断する							
教科書参考書							
F P 技能士 3 級 F P テキスト（資産設計提案業務）、F P 3 級技能検定精選過去問題集							
受講に当たっての留意事項							
人生のお金に関することをすべて学ぶ F P 授業は前期、後期を通じて受講することにより授業が完了します。したがって前期後期通じて受講しないと、3 級受験の範囲が終わらないので、1 年通じて受講し、F P 3 級試験を受験してほしい。							
学習到達目標							
前期受講科目のなかでは 3 級レベルに達すること							
JABEE							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習